

【7. 鎌倉・室町時代】

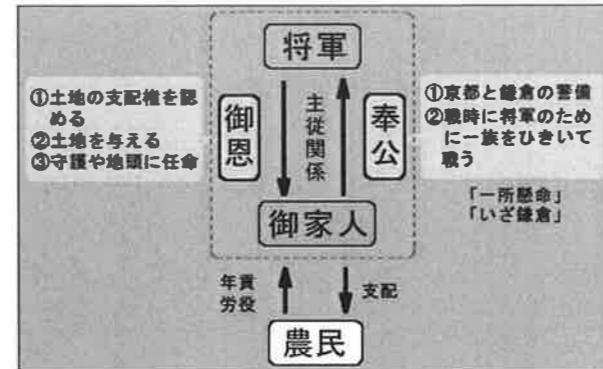
この時代のポイントは

「武士が支配者としての地位を確立していくが、徐々に武士同士の対立がでてきて、社会が不安定化していく」というところ

1 武士の政権、鎌倉幕府の始まり

①武士の支配の確立

- _____：鎌倉を政治の中心とする鎌倉幕府を作り、将軍となる。鎌倉以外の場所については地方の警察を統括する_____や、地方の徴税を統括する_____をおいた。
- _____：将軍と武士の関係。将軍と武士は主従関係を結び、武士は_____と呼ばれた。
- _____：武士の支配に不満を持った_____上皇が反乱を起こしたが、幕府に鎮圧された。皇族の住む京都にはその後、_____という監視機関が置かれた。



②武士の支配を反映した鎌倉時代の生活

- 武士による安定統治→農業技術が発達。草木灰（肥料）の活用、農具の発達などに加え_____が発明され、生産量上昇。結果として_____も開かれる。

・平安時代の日本貴族独自の国風文化ではなく、民衆が親しみやすい文化

宗教 _____の_____やそれを引き継いだ_____の_____では、「南無阿弥陀仏」という念仏を唱えれば極楽浄土にいけると教えが説かれた。また、幕府に最も保護されたのは、厳しい修行や地道な座禅を重視する_____。

文学 武士の戦いを描いた_____などの軍記物が多く書かれた。

建築 東大寺南大門の金剛力士像など、力強い作品が生まれた。

③支配をめぐる争い：武士同士の対立

- 武士は家主の死後は子供が分割相続→時代とともに所有地が狭まる
- _____によって軍事費がかさみ、幕府も御恩を返せない
→武士が幕府への不満を強めていく

民衆の生活からかけ離れた貴族とは違い、元々農民出身の武士の文化は、民衆にもしたしみやすい

2 建武の新政と室町幕府

①支配者の交代：鎌倉幕府（武士）から室町幕府（武士）へ

鎌倉時代末期の武士の不満の高まりを_____天皇が利用し、武士の協力をえて幕府を倒し、_____という「天皇中心の政治」を再開しようとする
→しかし武士はこれを許さず、倒幕に協力した_____によって追放されてしまう

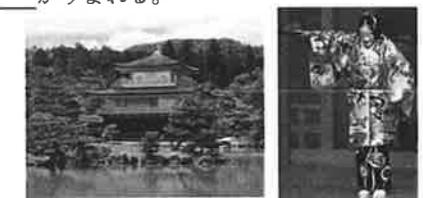
②室町幕府の統治と外国の影響

- 政治の中心を鎌倉から京都に戻す（鎌倉の武士の監視のために_____をおく）
- 3代将軍_____のころに、最も統治が安定する。
- 中国（このころは_____）と貿易を多く行い、進んだ物品や文化を導入。_____による密貿易を排除するため、_____（割符のこと）を用いて貿易を行う。

③室町幕府の文化

<3代将軍足利義満の時代> 武士が京都（貴族の本拠地）に政治の中心をおいた
→武士と貴族の文化が融合した豪華な_____がうまれる。

建築 _____は、1階は寝殿造（貴族）、2階は武士の住居、3階は禅宗様式。



芸能 義満が保護した観阿弥・世阿弥親子が民衆芸能だった猿楽を_____という芸能に大成。



<8代将軍_____の時代> さらに禅宗の影響力がますます強くなる

→義満の時代に比べると、質素で物静かな_____へ

建築 貴族要素が薄れ、住居も、貴族の儀式のための寝殿造から武士の生活にあわせた_____へ。

_____は、1階は書院造、2階は禅宗様式。

芸能 質素な色彩で表現する_____では_____が最も有名。



④室町幕府の生活

鎌倉時代から続いて農業発達。二毛作がさらに盛んになり、_____の生産が増え、それにともなって商業が盛んになり、同業者が組合（_____）を作つて協力し合う。また、商品を運ぶ運送業（_____や_____といった）が多くなる。

⑤支配をめぐる争い：支配の不安定化

_____により幕府が弱まり、各地で_____が統治を進めていく。